

議会報告会 会場報告書

担当班： 第1班 班代表者：原田 豊彦

概要			
地区名 : 西紀地区 日時 : 令和6年11月16日(土) 午前10時～午前11時30分 場所 : 西紀老人福祉センター 参加人数 : 8人(男8人 うち小学生1人)	【出席議員】 原田豊彦 桐村裕一 前田えり子 降矢杏奈 大内正博 上田英樹	(1) 開会あいさつ : 原田 豊彦 (2) 議会報告 : 大内 正博 (3) 質疑応答 : - (4) 意見・提言等 : - (5) 閉会あいさつ : -	挨拶・総括 : 原田 豊彦 司会進行 : 降矢 杏奈 報告 : 大内 正博 記録 : 桐村 裕一 前田 えり子 会場(マイク) : 上田 英樹

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回答
<u>万博推進事業について</u> 文化庁の補助金を活用するということだが、1億3,024万円が市費ということか。	予算の2/3が補助金である。文化庁の指導を受け、補助金が決定したので、10月に補正し、計画が進んでいる。令和7年度に実施する「丹波篠山市国際博」に向けて、プロジェクトマッピングを活用したオープニングセレモニーを実施するための経費である。
<u>交通対策事業について</u> デマンド交通の実証実験が始まるが、運転手の報酬は、どれぐらいか。市町村有償運送では、住民が少ない報酬でほぼボランティアで運転している。それらを増額できないものか。	11月1日からデマンド交通「のるーと丹波篠山」の運行を始めた。その費用の詳細までは把握できていない。 地域有償運送のドライバー報酬の増額に対応できる予算があるかどうかについては把握していないため、増額要望の声があることについて、執行部に伝える。

A 子育て・教育支援のために必要なこと

【参加者意見・ソフト】

- ・ 専門教育
- ・ 親の子育て教育
- ・ 教育者の育成
- ・ 観光より教育にシフトすべき
- ・ 出産費用補助

B Aを実現するための課題と対策

【『課題』 参加者意見・ソフト】

- ・ 金銭面
- ・ 特に支援学級
- ・ 人材教育
- ・ 教育への投資が見えない
- ・ 金銭面

【『対策』 参加者意見・ソフト】

- ・ 習い事補助、専門教育者招致
- ・ 教育をあきらめない
- ・ 魅力的、特徴的な教育
- ・ 教育の質を上げる
- ・ 出産費用補助金支給

【参加者意見・ハード】

- ・ タブレット普及
- ・ 複式学級の改善

【『課題』 参加者意見・ハード】

- ・ 家族等の会話の減少
- ・ 少子化

【『対策』 参加者意見・ハード】

- ・ DX化、環境整備
- ・ 学校統合

A 子育て教育のために必要なこと

子供たちに質の良い教育や専門教育で個々の能力を伸ばしていく。

B 解決するために必要なこと

学校統合も踏まえて、専門教育など個々に対応した教育環境の整備。

【考察】 参加者の意見から見えるもの

- ・ 少子化、人口減少など教育面から見た将来の不安が感じられる。
- ・ 支援学級の生徒と先生のコミュニケーションがしっかりできているか再確認してほしい。
- ・ 市民は「市は観光振興策に特に力を入れていると感じているのか!」と思わされた。
- ・ 地域の教員 OB の協力を得て実施している「がんばり学びタイム」で効果をあげている教育施策など、市民には知られていない。もっと PR したい。

A 子育て・教育支援のために必要なこと

【参加者意見・ソフト】

- ・世代を超えて関わりを濃くする。
- ・地域と学校・PTAの距離を縮める。
- ・少人数授業の充実
- ・道徳教育の充実

B Aを実現するための課題と対策

【『課題』参加者意見・ソフト】

- ・自分たちだけで子育てするのではなく先輩の助言を求められるシステムづくり
- ・昔の考え方を考える。理解を深める
- ・地域（社会）が育てる。見守る。

【『対策』参加者意見・ソフト】

- ・地域住民への子育てに対する理解を深める。
- ・専門家の講演会を開く

【参加者意見・ハード】

- ・高校丹有学区の復活
- ・登下校の安全
- ・保育所希望者全員入所
- ・バス等通学しやすく

【『課題』参加者意見・ハード】

【『対策』参加者意見・ハード】

A 子育て教育のために必要なこと

- ・世代を超えてより多くの人に子育てへ関わってもらおうシステムづくり。

B 解決するために必要なこと

- ・高齢世代と子育て世代が気軽に交流できる環境を作っていくことが必要。

【考察】参加者の意見から見えるもの

高齢世代と子育て世代の子育てに対する考えのギャップ。地域で子育てしたいと願う思いが子育て世代に伝わらない高齢者のもどかしさを感じられる話し合いであった。世代を超えた交流を促進するイベントや活動を企画していくことが大切だと感じた。